

産業廃棄物処理計画書	
令和 4 年 6 月 1 7 日	
静岡県知事 川勝 平太 殿	
提出者 住 所 静岡県沼津市米山町 8－1 2 氏 名 株式会社 関電工 南関東・東海営業本部 静岡支店 執行役員 支店長 杉田 裕市 電話番号 0 5 0－3 1 3 5－2 1 5 9	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 2 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 関電工 南関東・東海営業本部 静岡支店
事業場の所在地	静岡県沼津市米山町 8－1 2
計画期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業（設備工事業）
② 事業の規模	完成工事高 1 2，1 7 9 百万円（前年度実績）
③ 従業員数	2 5 9 名（正社員 2 3 7 名、契約社員 2 2 名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙－1 のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙－２のとおり</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（２０２１年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－３のとおり	
	排出量	別紙－３のとおり	
	(これまでに実施した取組) ・ 工事現場、事業所での分別による産業廃棄物の排出量削減とリサイクルおよび有価物化率の向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－３のとおり	
	排出量	別紙－３のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・ 工事現場および事業所での産業廃棄物の分別とリサイクル向上の指導 ・ 現場・職場巡回における産業廃棄物の保管状況および処理の確認		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 産業廃棄物の分別化を実施し、保管場所の十分な確保と産業廃棄物の種類を明確にした表示による区分けの実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の取り組みを継続しつつ、細かな分別化によるリサイクル化の推進と有価物化率の向上		

(第3面)

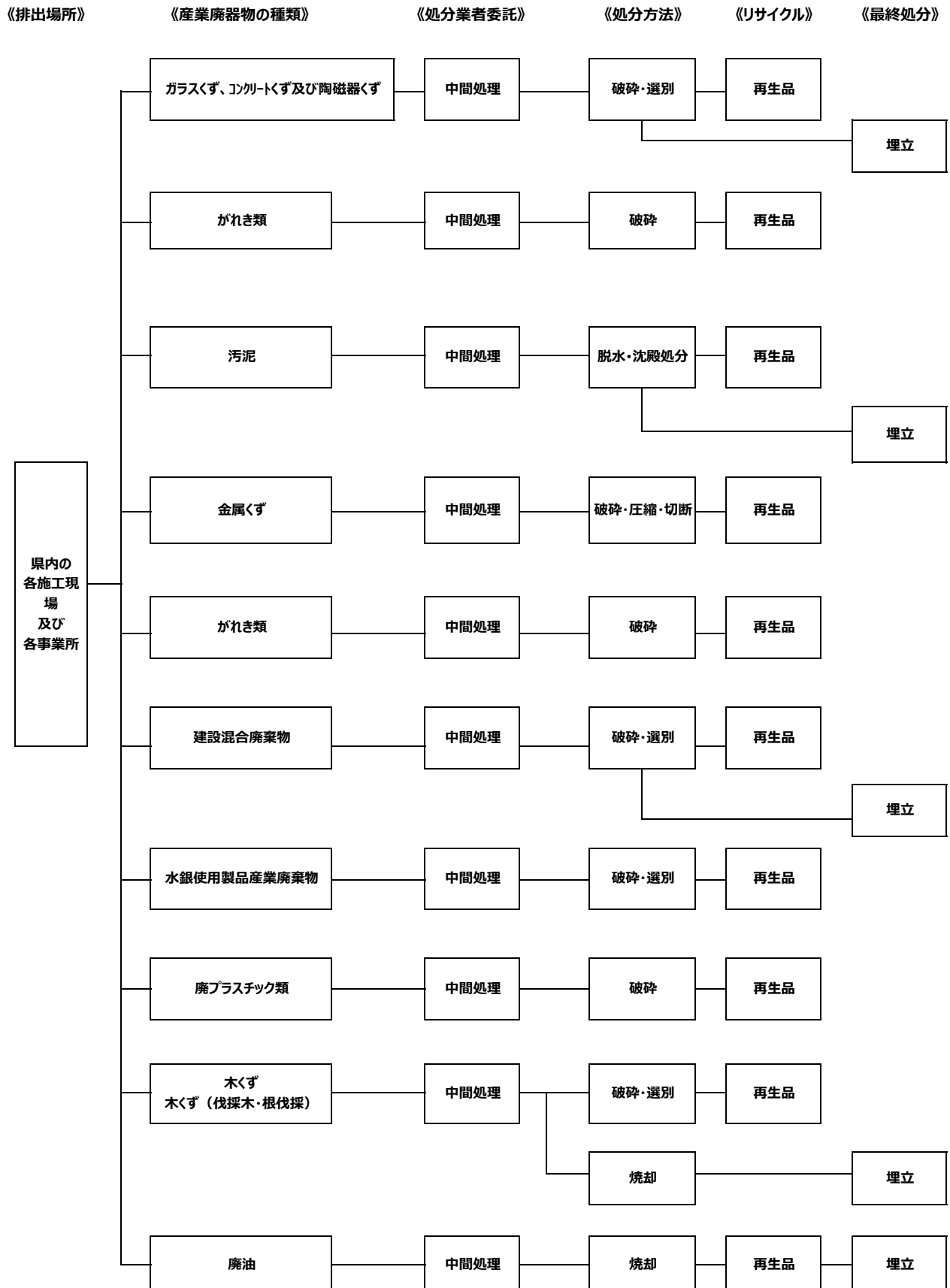
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

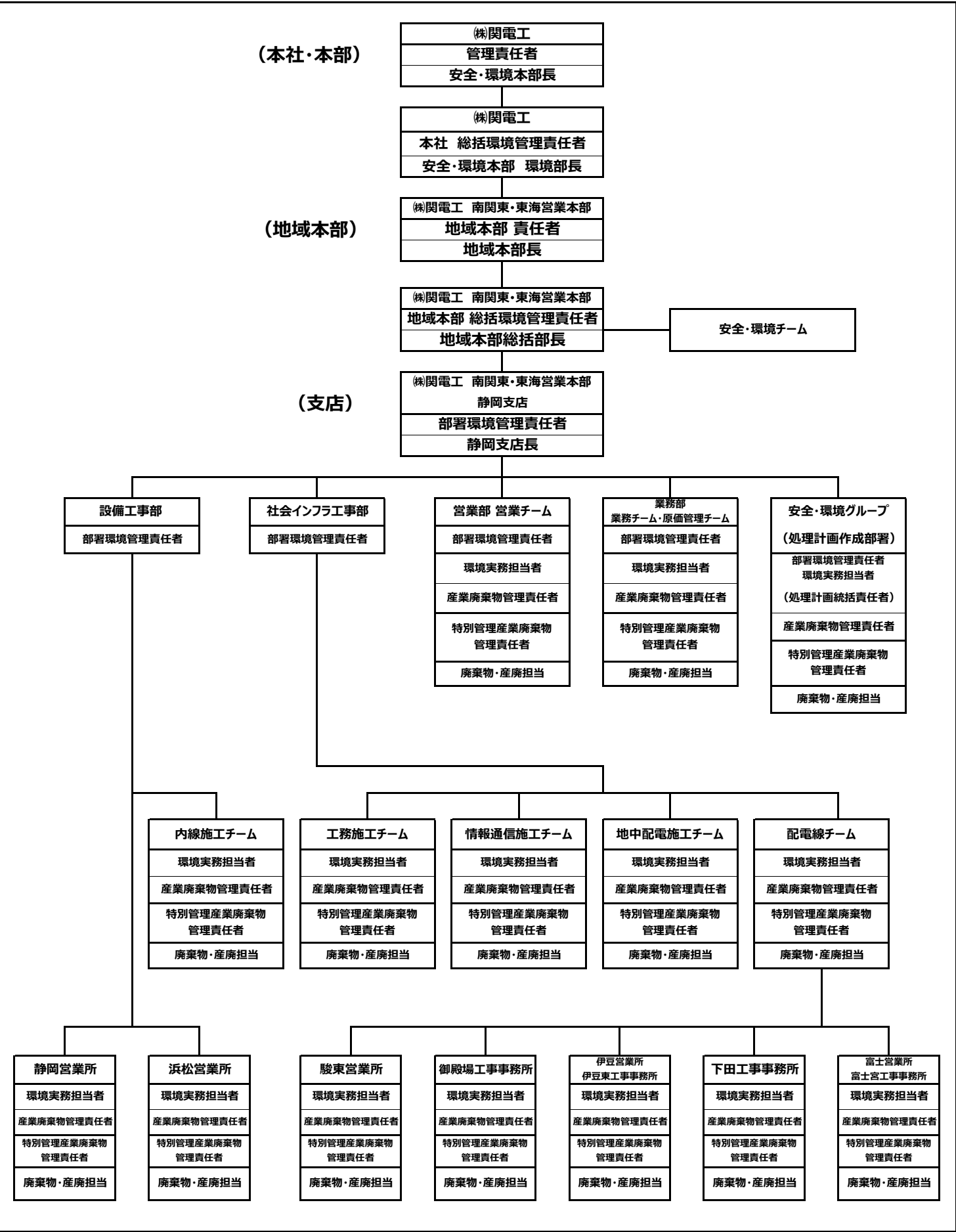
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－４のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙－４のとおり	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙－４のとおり	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙－４のとおり	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙－４のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙－４のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェスト加入業者および優良認定処理業者への優先処理委託 ・産業廃棄物処理実績による産廃処理業者への年１回の現地確認の実施 		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙－４のとおり
	全処理委託量	別紙－４のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙－４のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙－４のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙－４のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙－４のとおり
	(今後実施する予定の取組)	
	・ 現状の継続した取り組みと各担当者による産業廃棄物の適正処理の 確認及び管理の徹底	
	・ 産業廃棄物の適正処理に向けた社内教育と指導の継続実施	
※事務処理欄		

別紙－1 ④産業廃棄物の一連の処理工程





別紙－３ 産業廃棄物の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	① 現 状 前年度（2021年度）実績	② 目 標 （2022年度）
	排出量（t）	排出量（t）
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.305	2.000
がれき類	2,879.370	2,000.000
汚泥	9.460	8.000
金属くず	1.195	1.000
建設混合廃棄物	64.675	60.000
水銀使用製品	0.081	0.010
廃プラスチック	25.300	20.000
建設工事の木くず	6.445	4.000
木くず（伐採材・伐根材）	4,639.341	4,500.000
廃油	0.000	0.001
総排出量（t）	7,628.172	6,595.011

別紙－４ 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状 【（２０２１年度）実績】	産業廃棄物の種類	全処理委託量 （ｔ）	再生利用業者へ の処理委託量 （ｔ）	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量 （ｔ）	優良認定処理業 者への処理委託 量 （ｔ）
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.305	2.305	0.000	2.305
	がれき類	2,879.370	2,879.370	0.000	983.760
	汚泥	9.460	9.460	0.000	5.436
	金属くず	1.195	1.195	0.000	1.130
	建設混合廃棄物	64.675	64.675	0.000	64.675
	水銀使用製品産業廃棄物	0.081	0.081	0.000	0.008
	廃プラスチック類	25.300	25.300	0.000	22.050
	建設工事の木くず	6.445	6.445	0.000	6.445
	木くず（伐採木・根伐採）	4,639.341	4,639.341	0.000	1,853.504
	総排出量（ｔ）	7,628.172	7,628.172	0.000	2,939.313

② 計 画 【目標（２０２２年度）】	産業廃棄物の種類	全処理委託量 （ｔ）	再生利用業者へ の 処理委託量 （ｔ）	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量 （ｔ）	優良認定処理業 者への処理委託 量 （ｔ）
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.000	2.000	0.000	2.000
	がれき類	2,000.000	2,000.000	0.000	1,400.000
	汚泥	8.000	8.000	0.000	5.600
	金属くず	1.000	1.000	0.000	1.000
	建設混合廃棄物	60.000	60.000	0.000	60.000
	水銀使用製品産業廃棄物	0.010	0.010	0.000	0.010
	廃プラスチック類	20.000	20.000	0.000	18.000
	建設工事の木くず	4.000	4.000	0.000	4.000
	木くず（伐採木・根伐採）	4,500.000	4,500.000	0.000	3,150.000
	廃油	0.001	0.001	0.000	0.001
	総排出量（ｔ）	6,595.011	6,595.011	0.000	4,640.611